

“巧水(たくみ)スタイル推進チーム”発足!!

～水を巧み(たくみ)に使い、さりげなく節水することで、水を賢く使う社会を実現～

水資源の有限性、水の貴重さや水資源開発の重要性等に対する国民の関心を高め、理解を深める啓発行事の一つとして、昨年7月30日に水の週間記念シンポジウムが開催されました。同シンポジウムで開催されたパネルディスカッションでは、北野大明治大学教授をコーディネーターに迎え、節水の普及等についての議論が活発に行われましたが、その中で「巧水(たくみ)スタイル」をキーワードに日本が世界に冠たる水の国、巧水の国となっていけるよう、産学官連携と民主導による「巧水(たくみ)スタイル推進チーム」を新たに結成し、節水型ライフスタイル普及の取り組みを継続的に進めていくことが提案されました。

これを受け、昨年12月に「チーム水・日本」の行動チームとして「巧水(たくみ)スタイル推進チーム」を登録し、5月31日にチームに参画する国土交通省、経済産業省、地方自治体、業界団体出席のもと、(独)建築研究所・山海敏弘氏を代表に「巧水(たくみ)スタイル推進チーム」の発足会が開催されました。

今後、巧水スタイル推進チームでは、今年7月29日～31日に開催される「水の展示会」に出展し節水型ライフスタイルの普及啓発を行うなど、種々の啓発活動を推進していきます。



巧水(たくみ)スタイル推進チーム発足会議の様子(平成23年5月31日)

◆ “巧水(たくみ)スタイル推進チーム”について

(1) 発足の背景

気候変動による渇水リスク増大のおそれや、二酸化炭素排出量削減の必要性から、「水を賢く使う社会」への転換が必要とされていますが、「水を賢く使う社会」の実現のためには、国民一人ひとりが水を大切にする意識を持つことに加え、無意識のうちに、いつの間にか節水できている機器・技術の普及が重要と考えます。

東日本大震災で被災した地域の復興並びに災害に強い国土の形成が急がれる今、「水を賢く使う社会」の実現は、それらに大きく貢献できるものと考えています。

(2) 狙い・目的

水を巧みに使う国づくりを目指して、「巧水(たくみ)スタイル」をキーワードに、日本が世界に冠たる水の国、巧水(たくみ)の国となっていけるよう、産学官の連携による「巧水(たくみ)スタイル推進チーム」を結成し、水を大切にする意識の向上を図るとともに、節水機器・節水型ライフスタイル普及に向けての取り組みを積極的に推進していきます。

(3) 活動内容

①巧水（たくみ）スタイルの普及・啓発

- ・水の週間記念シンポジウムに参加し、情報発信を行います。
- ・水の日展示会に出展し、巧水（たくみ）スタイルの普及啓発を行います。
- ・ホームページ等 WEB による普及啓発活動を推進します。
- ・その他各種啓発活動を推進します。

②巧水（たくみ）スタイルによる節水意識の醸成

講演会、勉強会などにより節水意識の醸成に努めます。

③巧水（たくみ）スタイルに資する節水機器の普及促進

節水機器の普及推進に向けた各種施策を検討・実施します。

④巧水（たくみ）スタイルに関する情報収集及び調査・研究

種々の施策、法律など各種情報の収集を行うと共に、各種調査研究を行います。

⑤巧水（たくみ）スタイルによる各種提言

各方面に向け巧水（たくみ）スタイルに関する各種情報を提供するとともに、必要に応じ意見具申を行います。

⑥巧水（たくみ）スタイル推進チームの強化・拡充

本チームの趣旨に賛同する団体等に参加要請を行うなど、随時会員増強を図ります。

(4) 巧水（たくみ）スタイル推進チーム会員名簿（H23.5月現在）

<団体会員>

日本衛生設備機器工業会

社団法人 日本バルブ工業会（水栓部会）

<学識会員>

山海 敏弘

<行政会員>

松山市

高松市

北九州市

<後援>

国土交通省

経済産業省

<特別顧問>

北野 大（明治大学教授）

順不同（敬称略）

<本件に関する問合せ先>

日本衛生設備機器工業会 東京事務所 担当:福浦・中尾・立石

東京都新宿区市谷田町2-29 こくほ21 5F TEL:03-5206-5493

ホームページ <http://www.sanitary-net.com/>